

女性が働き続けられる 社会づくりを

小林 正人 議員
(自民みらい／鈴鹿市選出)



就業意欲のある女性が
働けない一番の理由は、
ワーク・ライフ・バランス（仕事
と生活の調和）が実現できない
ことだと考えます。フレックス
タイムや裁量労働制などの②フ
レックスワークを企業が導入す
るよう、県が積極的に働きかけ
ることで、ワーク・ライフ・バ
ランスが実現できるものと考え
ますが、いかがですか。

答

女性が働き続けるため
には、フレックスワーク
のような多様な働き方を選択で
きる環境づくりを進めることができ
必要と考えており、優れた取り
組みを行う企業の表彰などを行
っています。

今後も女性が
就労継続でき
る社会づくり
に向けて、企
業の取り組み
を支援していきます。

○低年齢児保育の充実 ほか

○防災対策 ほか

○他の質問事項
○男女共同参画社会 ほか



北勢バイパス

医療費助成制度での 現物給付の実施を

森野 真治 議員
(新政みえ／伊賀市選出)



「子育て同盟」が結
成され、その宣言
文の中には「眞の
子育て支援策を模
索し、実践する」と
あり、10県のうち8県で現物給
付が実施されています。本県で
も実施すべきと考えますが、い
かがですか。

答

本県では昨年9月に、
市町の医療費助成に対す
る補助対象を小学6年生の入通
院まで拡大し、10県の中でも広
い範囲で助成を行っていると考
えています。

現物給付は、国民健康保険の
国庫負担金などの減額措置で市
町の負担が増加するなどの課題
があり、財源の議論など国の動
向を注視しつつ、市町とともに
慎重に検討していきます。

就業意欲のある女性が
働けない一番の理由は、
ワーク・ライフ・バランス（仕事
と生活の調和）が実現できない
ことだと考えます。フレックス
タイムや裁量労働制などの②フ
レックスワークを企業が導入す
るよう、県が積極的に働きかけ
ることで、ワーク・ライフ・バ
ランスが実現できるものと考え
ますが、いかがですか。

問

少子化対策として、子
どもの③医療費助成の現物
給付化が県民から求められてい
ます。

4月9日に本県を含め10県で

現在、整備が進められている
④北勢バイパスは、交通渋滞の
緩和や内陸部の地域開発促進の
効果などが期待され、地域の皆
さんにとって早期の完成が望ま
れています。

問

本県の道路整備は、道
路改良率が全国平均よりも
低いなど遅れており、特に北
勢地域の交通渋滞はひどい状況
です。

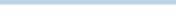
現在、整備が進められている
リキュラムの導入
を含め、農業の6
次産業化に資する
人材育成を目指
し、その内容を充
実させる必要性について提案を
しました。その後、農業大学校の
取り組みについてどのように見
直しをしたのか、お伺いします。

問

うかる農業」を支えると
いう観点で、県の農業大学校に
おいて、マーケテ
ィングに関する力

藤田 健児 議員
(自民みらい／四日市市選出)

津田 健児 議員
(自民みらい／四日市市選出)



三重県農業大学校

もうかる農業を支える 人材育成

藤田 宜二 議員
(新政みえ／鈴鹿市選出)



現物給付は、国民健康保険の
国庫負担金などの減額措置で市
町の負担が増加するなどの課題
があり、財源の議論など国の動
向を注視しつつ、市町とともに
慎重に検討していきます。

答

昨年9月から、マーケ
ティングスキルをもつ農
業者の育成を目的とする公開講
座を開設しました。また、今年
度から学生を対象とするカリキ
ュラムに、マーケティング戦略
などを学ぶ科目を新設しまし
た。今後も、農業大学校におけ
る人材育成の取り組みの充実を
図り、「もうかる農業」を実践で
きる人材の育成に努めます。

○多文化共生と外国人の教育支
援 ほか

○他の質問事項